

Free School
since 2004
in Osaka

フリースクールみなも
Mina-mo

通信

2014年4月:第14号

■桜の咲く頃に…

今年も卒業のシーズンがやって来ました。みなもからも、次の進路が決まって「卒業」という形で旅立っていく子どもたちが4人います。

進学先は様々。まずは大学に行く子が1名。大学では心理学を専攻し、将来は自身も不登校の子どもたちと関わりたいとのこと。そうしてくれるのは、日頃から活動続ける私たちとしても感慨深いものがあります。

もう1人はゲーム・プログラミングの専門学校へ。みなもきってのゲーム好きの彼は、主要なゲームハードをほぼ制覇する兵（つわもの）。絵の実力も相当なもの。そんな彼は専門学校で「ゲームプロデューサー」、つまりゲーム制作現場における総指揮のような立場になるための勉強を志します。趣味から仕事へ、自分の好きなことを活かしてがんばってもらいたいです！

彼ら2名はみなもが提携している通信制高校「松陰高等学校」を今年卒業、それと同時に次の道へと進みます。

引き続き夢を追いかける子もいます。小学校5年生から、つまり2回引越しをしたみなもの、始めの建物「ふじビル」の頃から通っていた男の子も、今年ついに卒業。みなもからは卒業しますが、次の進路として大学への進学を考えるとのこと。

中学校修了と同時にみなもを卒業する子もいます。彼女は大阪ではない、他地方の高校で自分の行

きたい道を見つけ、4月から北海道へと旅立ちます！ 楽しみでもあり、心細くもあるかもしれませんが、新しい生活を満喫してほしいものです！

そして大学・専門学校へと進学が決まっている子ども達があと2名おりますが、この2名はそちらに通いながら、もうちょっとみなもでのサポートを新生活に役立てたいようです。

また今年はボランティアさんの「卒業」も多いですね。就職が決まった方もいます。また教職を目指しつつ、その傍らお手伝いいただいていた方が3名ほど、それぞれ就職先が決まり、愛知へ、鳥取へ…。大人達もそれぞれの道が始まります。

…そしてみなもにも、新たな変化の兆しが。昨年末あたりから、急激に小学生の子どもたちが増えてきました！ 昔ながらのみなもを知る人々が順次旅立っていく傍ら、新しい子どもたちも来るようになり、新しい世代へと変わりつつあるみなも…。これまで来ていただいた皆さんにありがとうございます。そして今年度もどうぞ、よろしくお願い致します。

(今川)



↑卒業式の様子です。

■私もみなもを卒業します！

みなもにボランティアとして約1年半と長々と携わらせてもらいました。最初はフリースクールとはどんなものかもよくわからないまま始めたのですが、とても楽しく過ごせた時間だったと思います。相当いいおっさんだったので子ども達との共有できるようなことが少なかったのが最初はどうもつきあうことができるか心配でしたが、何より子ども達が優しかった。。みなもの子ども達は、とても個性的でいろいろなことに興味を持ち、挑戦していました。私自身も子ども達とともにいろいろ挑戦できたと思います。子ども達には私が知らない世界？も色々と教えてもらいました。

また、勉強を見ることもあったのですが、本当に子ども達の可能性を大きく感じる事ができました。特に自分の興味のあるところなどは集中力と意欲が半端ないです。私が教えることができたのはほんの一部ですが、勉強に向かう姿勢の真剣さはすごいと思います。本来、勉強が自分の将来のためにするものだと改めて感じました。

フリースクールとはどんな所だろうと興味をもって始めたボランティアでしたが、正直これだけ長く携わることになるとは思いませんでした。それだけ楽しかったということなのでしょうね。この楽しさこそフリースクールというか教育には大切なことかもしれないですね。もちろん、みなもの軽～い雰囲気は大好きです。

わずか週1回の出会いでしたが、多くのことを教えてもらった、そのように思います。これから別の現場で教育に携わることになるのですが、みなもで感じたこと、考えたこと、子ども達と遊んだことは大きいです！ま、これからのことなのでどのようになるかはわかりませんが、楽しく真剣に子ども達と携わっていったらなあと思います。

(木下)

■個別指導塾みなもの1年間を振り返って

時の流れというものは速いもので、2013年3月にオープンした「個別指導塾みなも」も1周年を迎えました。無事、高校・大学受験に合格した子どもたちも、残念ながら及ばずだった子どもたちもいました。でも、結果はどうあれ、子どもたちがここで努力してきたことはいつかどこかで生きてくるはずです。それぞれの思いを胸に2014年度からスタートする新生活に励んでほしいと思います。



さて、2013年度の個別指導塾みなも、1年目ということもあって手探り感もあり、まだまだ課題もあるな～という感じでした。10人以上の生徒に通っていただき、1年目の大手傘下ではない塾としては上出来の人数なのですが、そのほとんどが「フリースクールみなも」の内部生。外部生は4人とどまり、大盛況だったとは言い難い感じでした。そのため、フリースクールに並ぶ事業というよりもフリースクールのオプションという感触が強かったですね。2014年度は、外部生を充実させ、新しい風を入れていきたいところです。

でも、その分「勉強したい」というフリースクールの子どもたちのニーズには応えられたと思います。一人一人に沿った学習をモットーに、自分のペースで勉強した子ども、高校や大学入試に向けて、進学塾並みの学習量と宿題をこなした子どもまで…。特に後者は「こんなに勉強させて、なんてフリースクールなんだ！」とか同業者がおしかけてきそ

うなくらいでしたね。でも、子どもたちって、やる気を出したら本当に一生懸命にやってくれます。塾である以上、「個別指導塾みなも」としては勉強面のサポートが中心になりますが、そこにやる気を見出した子どもたちをしっかりと応援していきたいですね。

では、2014年度の個別指導塾みなもですが…今までの方式をベースに改善を重ねていきたいと思えます。まず、これは一般の外部生や、学校の定期テストだけは受けたいと考える不登校の子ども向けですが、テスト前に授業を追加できるシステムを導入します。要はテスト前になったら、数学や英語の授業を通常よりも増やしたり、そのときだけ社会の授業とかもやったりとできるようにといった感じ。テスト前に万全の準備を整えましょう。まあ悪く言うと、テスト至上主義みたいなやり方にシフトしているんですが…。あとは、セーフティネットの充実を考えています。受験勉強はどうしても無理しなきゃいけない面もあるため、それで燃え尽きてしまわないように、そういった生徒には心理面でのサポートを行っていく予定です。

というわけで、生徒大募集中！の個別指導塾みなもを今後ともよろしくお願ひします。

(稲垣)

■簿記講座してます♪

フリースクールみなもでは、2012年度の4月から、希望者を募って簿記3級の講座を行っています。

週に1回60分、講師が用意したテキスト『全経簿記3級商業簿記 標準ドリル&模擬問題集』に合わせて、外部講師の解説を聞いた後に例題を解くというスタンダードな座学です。

簿記とは、経済主体が経済取引によりもたらされる資産・負債・純資産の増減を管理し、あわせて一

定期間内の収益および費用を記録する……わかりやすく言うと「会社の家計簿をつけること」。事務用イスを買えば備品という資産が増えて現金が減る、その記録の仕方を学びます（ちなみに、「備品を買った」だけを管理するのが単式簿記、「備品を買ったから現金が減った」因果関係を踏まえて管理するのが複式簿記といいます。私達が学んでいるのは、複式簿記）。

資産と負債を管理するというと非常に難しい印象を受けますし、「車両運搬具を1500000円で購入。1000000円は当座預金で支払い、残りは掛けとした」なんて大金のケタを扱った出題をされると「この計算合ってる？ホントに？」と不安になったりもします。ですが、「例えば、みなもが旅行に行くために車両運搬具……車を買ったとします。それはみなもの財産、つまりは資産になります。新車を買ったと考えるとこのくらいの値段ですね」など身近な喩えを聞きながら、少しずつ「お金の動き」に慣れてゆきました。

簿記検定は、大きく「日商簿記検定（日商簿記）」「全国商業高等学校協会簿記実務検定（全商簿記）」「全国経理教育協会（全経簿記）」の3種類。各団体によって、試験範囲や難易度が違います。

簿記の勉強そのものがはじめてということもあり、今回はいちばん難易度の低い全経簿記の3級を目指すことになりました。生徒は4人（内1名はスタッフ）、講師を入れても1テーブルに収まる少人数です。

講師は、以前から親交のある大阪市生野区のフリースクール「ラヴニール」の林裕子さん。ご自身が簿記の有資格者であり、他のフリースクールにも簿記講師として出張なさっていました。

授業は、終始まったくムードで行われていました。授業中に雑談も交える、とてもみなもらしい講座です。出席も自由意志で、受講者は授業ペースと自分の体調を鑑みつつ出欠を決めているようでした。

2013年4月にテキストの範囲が終了し、その後は、全経試験の過去問題集をひたすら解きました。2013年7月・11月と1名ずつが受験、計2名が合格しました。合格者は、次は全経簿記の知識を活かして、日商簿記3級受験に向けて勉強しています。

簿記は実務に関わる勉強ですが、3級資格はイコールで就職に繋がるものではありません。しかし、更に上級あるいは財務や会計学を学ぶとっかかりになるものであり、頑張っ勉強した経験、努力を資格という形で認識することは受講生にとっては大きな自信になります。かくいう筆者も、「お金」への漠然とした苦手意識が減りました。ヤッター！

(南郷)

■多くの寄贈品を頂きました！

大阪南ロータリークラブ様から、「いじめ問題などに苦しんだ子らに役立つ寄贈をしたい」とのことから2013年10月に、工作用具、パソコン、デスク、折りたたみ自転車など、多数の寄贈品を頂きました。同月、M.H様から多数の参考書もいただきました。それぞれ、その後大いに役立たせていただいております！ご寄贈頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

➤・賛助会員・カンパのお願い

フリースクールみなもは、不登校の子どもたちのための、学校に代わる居場所と学びの場を設け、不登校の子どもを持つ家庭への総合的な支援を行うことを目指して、有志によって設立されたNPO法人(特定非営利活動法人)です。子どもたちやその保護者・家庭にとっての支えとなるべく、スタッフ一同、活動の充実に日々努めています。

しかしながら、もとより営利を目的とした事業ではないので、こうした資金だけで行える活動には、限りがあります。そこで、みなもの活動を応援して下さるかたには、賛助会員への応募をお願いして

います。賛助会員の皆さまには、「みなも通信」をお送りさせていただきます。

賛助会費のお支払いは、スタッフに手渡し、または郵便振替で。郵便振替の場合は、「氏名」「住所」「電話番号」「費目(賛助会費として)」「会報への氏名掲載の可否」を備考欄に明記の上、下記の口座まで、お願いいたします。

【賛助会費】1口 3,000円/年(複数口のご応募も歓迎)。振込先：ゆうちょ口座 00960-0-204146

(加入者名：フリースクールみなも)

➤・「まんま会」のご案内

フリースクールみなもでは、原則毎月第3土曜日に「みなものまんま会」(不登校の子を持つ親の会)を開いています。「まんま会」は、不登校のお子さんを持つ保護者の皆さんに、お互いの気持ちを共有し合える場を提供することを目指した会です。みなもの会員であるかどうかにかかわらず、どなたにでも参加していただけます。参加をご希望の方は、ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

【概要】日時：毎月第3土曜日の14:00～16:30、場所：フリースクールみなも、参加費：500円(お茶菓子代として)、アドバイザー：中尾安余さん(みかんさん=結空間代表)、担当スタッフ：中村有美

『フリースクールみなも通信』第14号

発行日：2014年4月1日(本号4頁)
発行者：特定非営利活動法人フリースクールみなも
(理事長・今川 将征) 編集担当：松浦 豊
○特定非営利活動法人 フリースクールみなも
(2005年6月15日認証=大阪府指令府活第2-58号)
会員(利用者)：28名(2014年3月現在)
代表：今川 将征(理事長)
スタッフ：常勤5名、非常勤3名、ボランティア数名
設立日：2004年11月1日
住所：〒530-0044 大阪市北区東天満1-4-3
(地下鉄「南森町」駅から徒歩7分、JR東西線「大阪天満宮」駅から徒歩5分)
電話・FAX：06-6881-0803
対象年齢：6歳～18歳
活動時間：月曜日から金曜日の11時～20時
入会説明会：随時(体験入会は無料、4週間)